

田島小だより

№16 「やる気」の土台は「すき」!

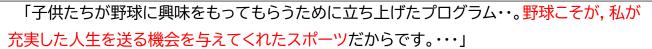
年末から報道されていた大谷翔平選手からのグローブ のプレゼントが本校にも届き、全校生で開封しました。

数日前からグローブが届いた学校の記事が新聞等で流され、子供たちはウキウキワクワク、目はキラキラでした。 その際、本年度の重点であるキャリア教育について、「魔法のランプ」そして大谷選手をもとに子供たちに話をしました。



年度初めに「夢をもつことの大切さ」を「大谷選手」をもとに話し、学年のまとめの学期に大谷選手のグローブをもとに振り返ることができました。子供たちにとって再度「夢をもつことの大切さ」「夢実現に向け、今自分がやらなければ、ならないこと」を全校生で確認することができました。

会の中で子供たちにも紹介しましたが、グローブと一緒に入っていた大 谷選手のメッセージの一部を紹介します。



このメッセージから、大谷選手の「野球への感謝の気持ち」、そして「本当に野球が好きなんだ。」ということが伝わってきます。

「やる気(モチベーション)」を高めるために大切なことは「好き」であること。

好きなことには「集中できる」

「時間を忘れて取り組める」

「もっと〇〇できるように創意工夫をする」

とつながっていくように感じます。



運動だけでなく、学習にあっても同じことが言えると思います。まずはその学習を好きになることが重要であり、そのためにちょっとしたことでも「おおげさに褒める」ことを学校では行っています。ノートやプリントへの「大きな〇(はなまる・くままる:私が子供の時もらった最高級の〇)」など、できたことを様々な方法で称賛しています。ぜひ、各家庭でもまずは「褒める」、そして「好き」と思わせ「やる気」につなぐこと取り組んでみてください。

「能登半島地震」をもとに

大谷選手のグローブ披露と合わせて子供たちに話したの が今回石川県を中心に大きな被害をもたらした大地震につ いてです。

会の中では以下のことについて話しました。

- 1 今報道されている状況を13年前ここ福島県でも経験(東日本大震災)し、同じような苦労をお家の人たち(福島県・東北)はしたこと。
- 2 東日本大震災の時、他の県や国、ボランティアの人などの支援があって、今の福島県(東北)があること。

そして、この2つのことを頭において、

- ① 能登半島で今起こっていることをみてほしい。
- ② 多くの支援が必要な人たちに、私たちは何ができるのか、考えてほしい。
- ③ もし将来同じような災害に遭った際、どのように行動するか考えてほしい。

今後は、特に②について、学校全体でできることを6年生が中心となって考えていきます。 また、道徳科の授業を中心に「命の大切さ」「自然への畏敬」そして「協力・共助」について各 学年の実態に応じて学習を進めていきます。

東日本大震災後、福島県では悲惨な中にも心温まるエピソード等があり、それを伝えていかなければならないと考え、まとめた資料があります。それが「ふくしま道徳教育資料集 I ~ Ⅲ」です。自由参観の際3年生が「がんばらやんばい」を活用したように、学年によってはその資料を活用し道徳の授業を行います。

給食においても「防災・災害食」を予定しています。今まで「塩むすび」(「レトルトのカレー」「レトルトの根菜汁」「すいとん」など子供たちは経験しています。今年の3.11では「乾パン」を予定しています。防災・災害食として提供してきた献立は、こちらの意図に反して結構好評です。しかし、子供たちはこのような食事が毎日続くことは想定していません。今回被災された状況をもとに、自分事として捉え、考えることができればと思います。



スキー教室、お世話になります!

本年度は指導者が不足する際、インストラクターの活用を考えていましたが、保護者の皆様のご協力により特に必要な学年はないとのことです。 次年度以降も同じ対応をとりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

| 「お知らせコーナー」 | ※ご意見をお願いします。 | | | |
|------------|--------------|----|---------|------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 保 | 護者氏名(|)(|)年児童氏名(|) |